

「結婚生活」と「離婚」に関する 意識調査報告

NPO法人ファザーリング・ジャパン
2016.9.7.

**「離婚したい」「別居したい」と思ったことがある夫は35%、妻は50%
「円満夫婦」と「不満夫婦」の違いは家事育児分担満足度と夫婦の会話時間にあり。
余裕時間の創出と機能的役割の共有が夫婦関係改善の鍵。**

5年ぶりに離婚件数が増加したことをうけて、NPO法人ファザーリング・ジャパン（東京都千代田区、代表 安藤哲也）は、小学生以下の子どもを持つ2,000人の既婚男性と既婚女性に対して「結婚生活と離婚に関する意識調査」を行いました。調査結果によると、65%の夫が「離婚したいと思ったことはない」のに対し、妻は半数の50%が「離婚したいと思ったことがある」ことがわかりました。別居についても同様で、妻は夫に比べて別居や離婚について考えていることが明らかになりました。

「円満夫婦」（夫婦関係に不満がなく「離婚したい」と思ったことがない）と「不満夫婦」（夫婦関係に不満があり「離婚したい」と思ったことがある）の違いは、「家事育児分担満足度」と「夫婦の会話時間」にありました。「円満夫婦」の夫の平日・休日家事時間は「不満夫婦」より平均で10-15分程度長く、また、育児時間は20-30分長いことがわかりました。また、「円満夫婦」の夫婦の会話時間は「不満夫婦」の3倍長く、夫婦の会話時間に大きな差がありました。

家事育児分担満足度については、夫、妻ともに、自分自身の負担時間が減り、相手の負担時間が増えると満足度が上がる傾向がみられました。つまり、自分が家事育児を負担すれば相手の満足度は上がる一方で自分の満足度は下がるという板挟みの状態です。しかし、お互いの分担満足度に相関が見られたことから、夫婦が家事育児を担い合うに足る「時間的余裕」＝「余裕時間」があれば、家事育児を無理なく担うことができ、双方の分担満足度が向上し、それに伴い夫婦関係満足度も向上すると考えられます。

夫婦の会話時間は夫婦関係満足度のみならず、分担満足度とも相関がありました。また、夫、妻の半数近くは「夫婦のコミュニケーション」や「夫婦二人の時間」が夫婦関係改善につながると感じていますが、平日の会話時間は「不満夫婦」で18分、「円満夫婦」でも58分とコミュニケーションの時間が確保されていないことが明らかになりました。

「結婚生活を継続している理由」について、夫は妻より「愛情」や「絆」に関する理由の占める割合が高い一方、妻は、経済面での安定や家事育児負担、老後の生活の不安等、「機能」に関する理由の占める割合が夫に比べて高い傾向がありました。このことから、妻は「愛情」や「絆」等の情緒的側面だけではなく、機能的側面を結婚生活に求める傾向があることがわかりました。また、夫婦関係の改善に「夫の収入の増加」に加え、有職の妻は「妻自身の収入の増加」を挙げており、家事育児だけでなく、稼得も含めた機能的役割を二人で担うことが夫婦関係改善にもつながることが示唆されました。

【NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也 コメント】

誰も離婚するために結婚する人はいません。でも「不満夫婦」は後を絶たない。不満夫婦を続けることはストレスが増すだけ。子育て中であれば子どもにも悪影響が出ます。子どもはいつだってパパとママの和睦を願っています。

円満な家庭を持続するには理想論だけでは立ち行きません。家庭生活ではパートナーと目標を設定し、手を取り合い、家事や育児をシェアすること。完璧を目指さず、前向きな妥協も取り入れながら、無理なく笑顔で暮らすことが重要です。

この調査結果にある「余裕時間の創出」がキーならば、やはり働き方を見直すことがポイント。特に男性は残業ありきの長時間労働をやめること、自分の健康と家族のために休暇をしっかりと取ることです。ただ個人の努力では限界があるので、チームの業務効率化や、多様な働き方を認め合う職場の風土改革が必要。ダイバーシティブな視点を持った管理職（イクボス）が求められます。

また「稼得も含めた機能的役割を二人で担うことが夫婦関係改善のポイント」という点については、経済が低成長の時代には家庭において「共稼ぎ」は最も合理的なチーム戦略と言えるし、そのためには男女ともに育児と仕事の両立が可能な保育インフラの整備や働き方の見直し、職場における風土や評価制度の改革が必須で、それが円満夫婦の持続性を担保することになります。

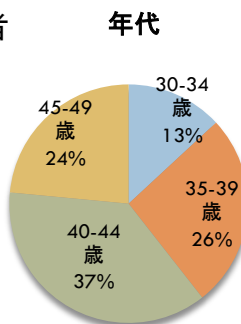
調査方法	インターネットリサーチ
実施機関	株式会社 マクロミル
実施期間	2016年06月17日(金)～2016年06月18日(土)
調査対象者	小学生以下の子どもを持つ既婚者(長子が中学生未満)
調査エリア	全国
有効サンプル数	2060(男性1030、女性1030)

回答者の属性

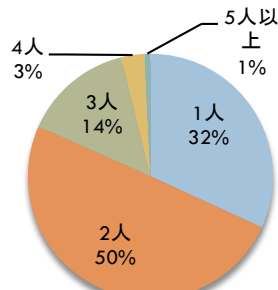
平均	夫回答者	妻回答者
年齢(歳)	38.5歳	35.2歳
個人年収	290万円	230万円
世帯年収	488万円	
結婚年数	7年3ヶ月	
子どもの数	1.87人	
末子の学年	小学1年生	

夫回答者

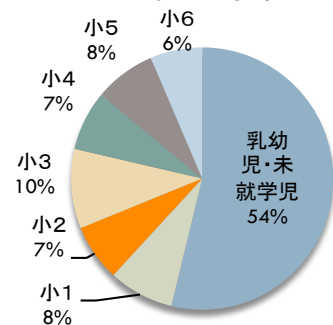
N=1030



子どもの人数

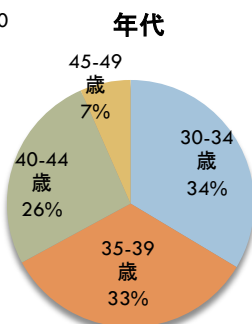


末子の学年

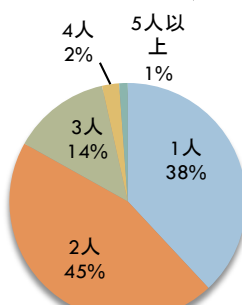


妻回答者

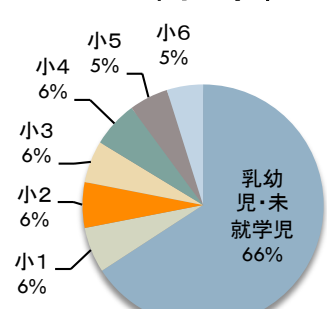
N=1030



子どもの人数

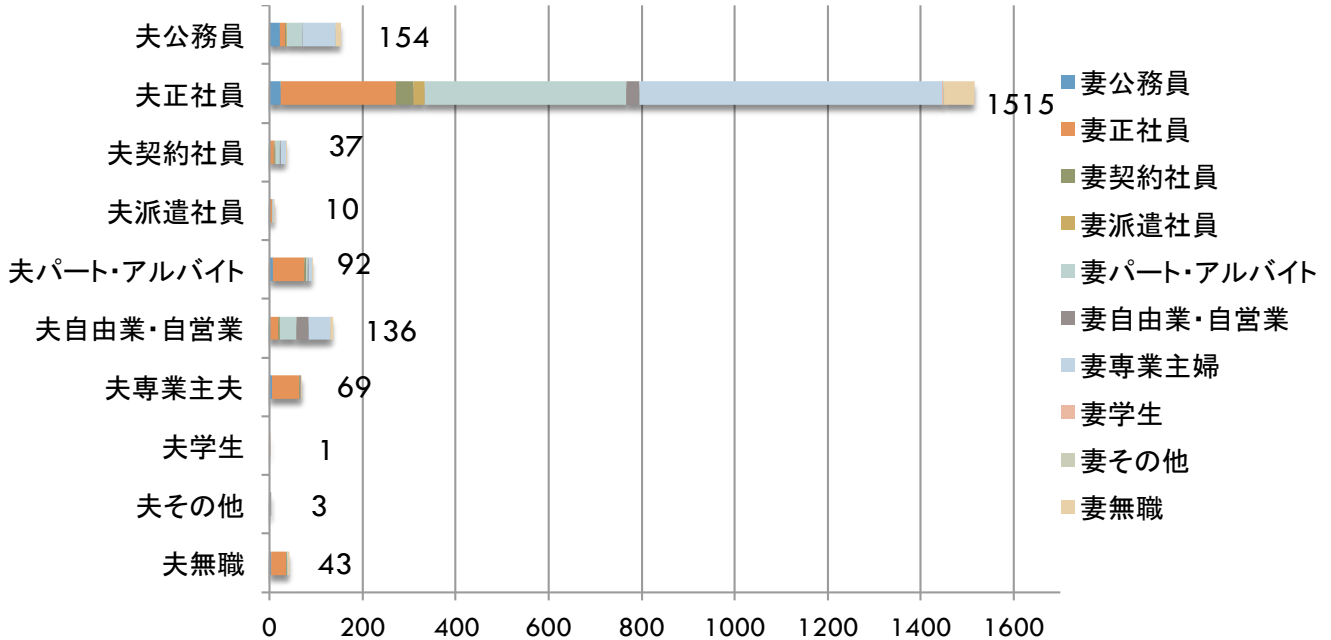


末子の学年



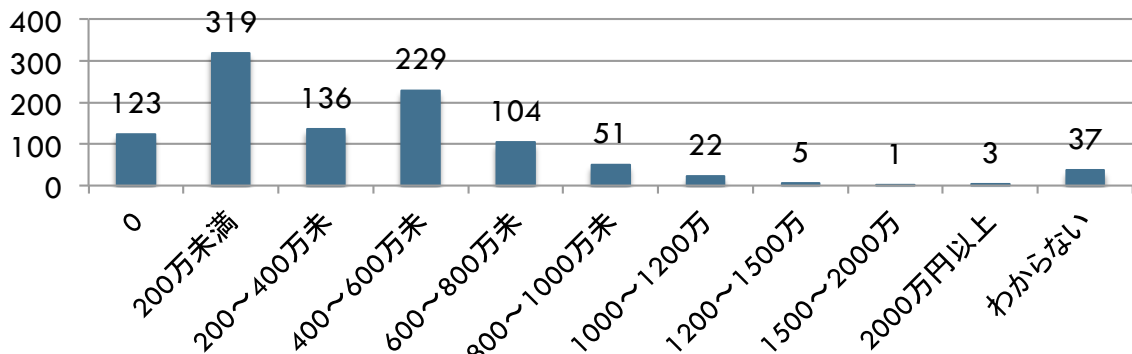
回答者の就労状況

N=2060



夫回答者(妻有職)	夫回答者(妻無職)	妻回答者(有職)	妻回答者(無職)
567	463	515	515

夫回答者個人年収



妻回答者個人年収



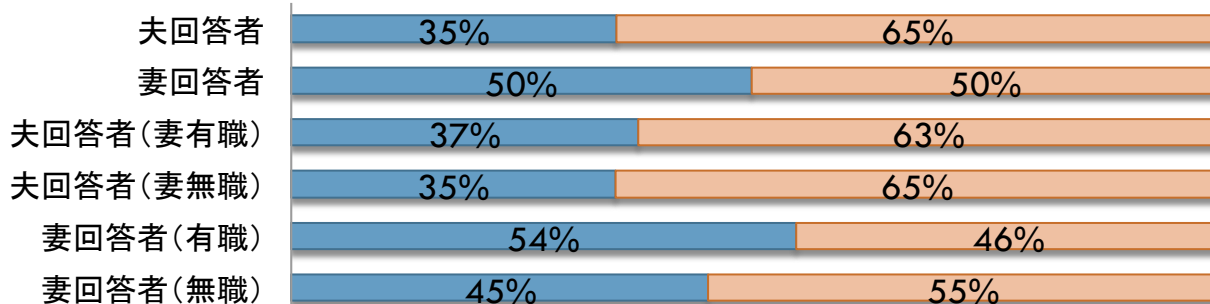
■ 配偶者と「別居したい」または、「離婚したい」と思ったことはありますか？

妻の二人に一人が「離婚したいと思ったことがある」と回答。
一方、夫は6割以上が「離婚したいと思ったことはない」と回答した。別居についても同様。

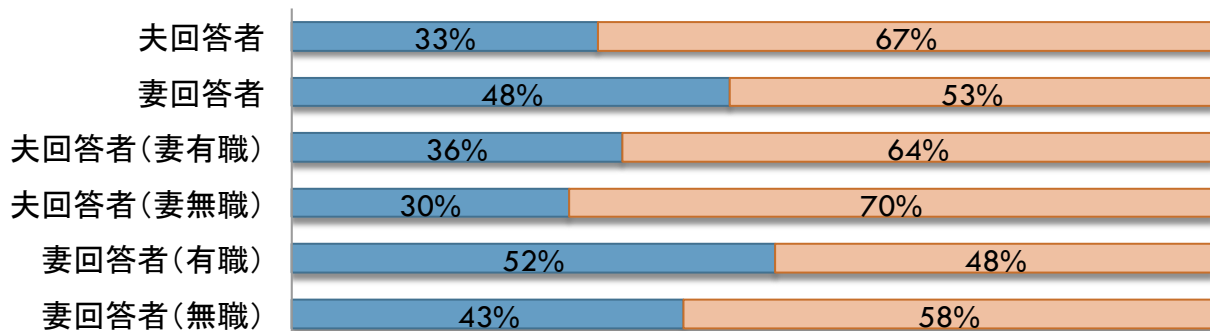
離婚したいと思ったこと

N=夫1030, 妻1030

■ ある ■ ない



別居したいと思ったこと



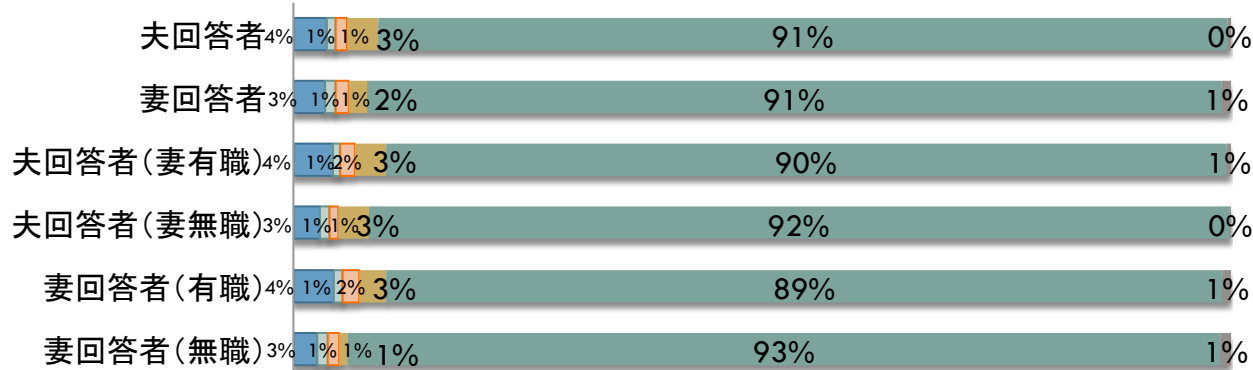
■ 現在、配偶者と別居中、または、家庭内別居中ですか？

現在家庭内別居中は3-4%、別居中は1%。9割は現在も過去にも別居や家庭内別居したことがない。

別居、家庭内別居状況

N=夫1030, 妻1030

■ 家庭内別居中
■ 別居中
■ 現在は別居中でも家庭内別居中でもないが、以前家庭内別居したことがある
■ 現在は別居中でも家庭内別居中でもないが、以前別居したことがある
■ 別居中でも家庭内別居中でもないし、以前もしたことはない
■ その他

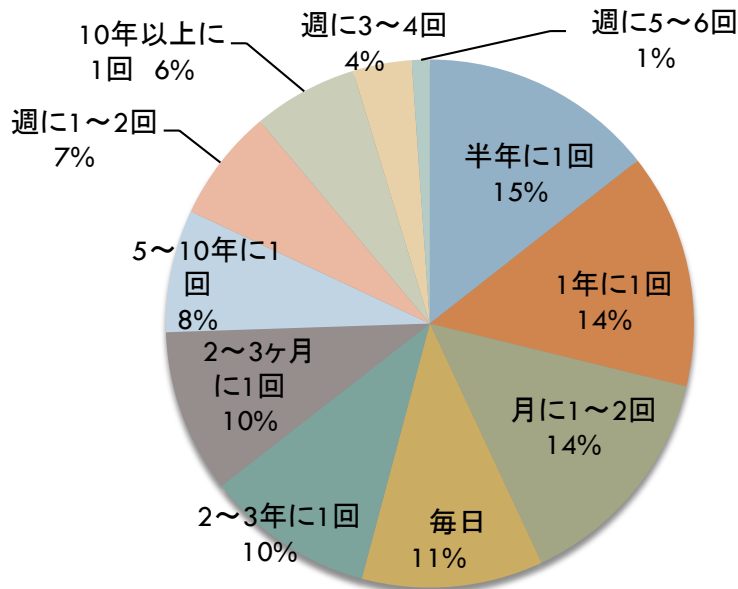


■ あなたは、「離婚したい」とどのくらいの頻度で思いますか？

「離婚したいと思ったことがある」と回答した人のうち、夫も妻も約3割が「半年から1年に一回」と回答。また、夫も妻も約1割が「離婚したいと毎日思っている」と回答。

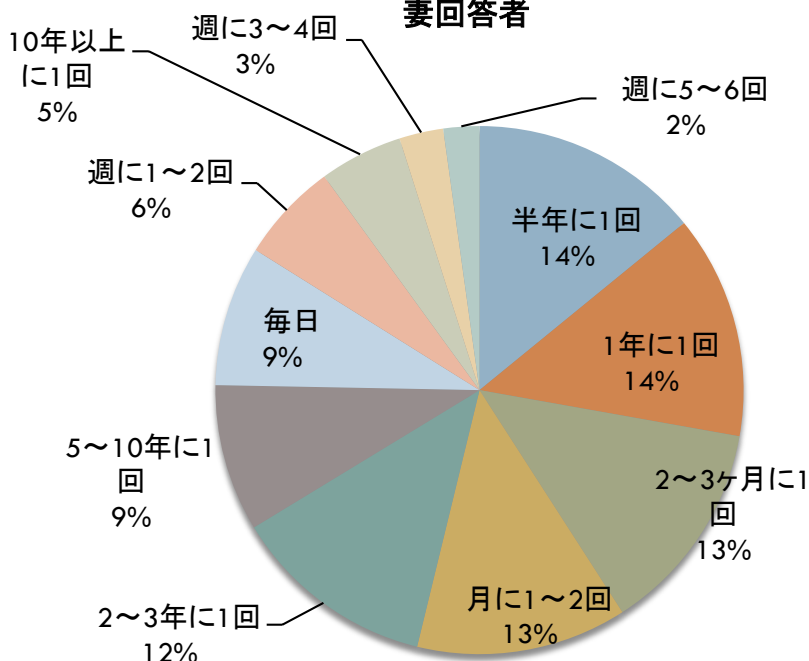
夫回答者

N=360



妻回答者

N=511

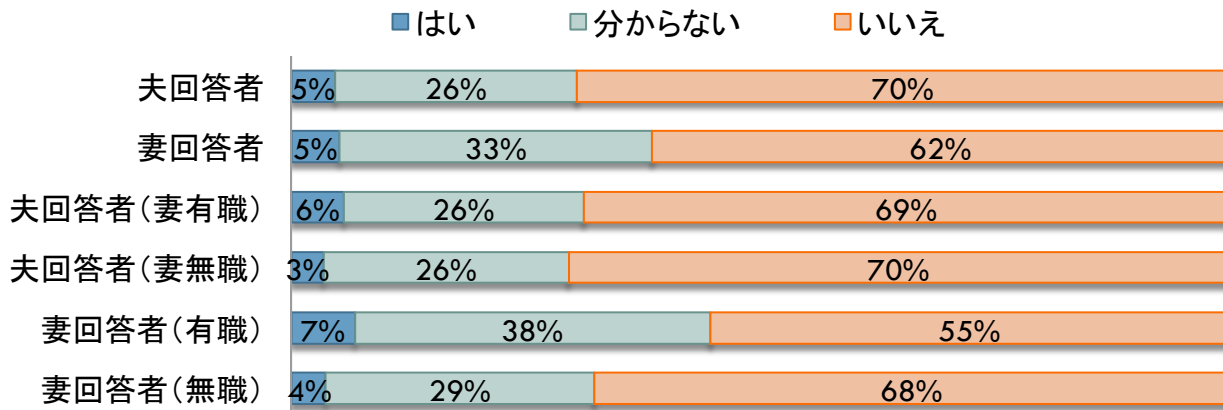


■ 将来的に離婚するつもりはありますか？

夫と無職の妻の約7割が「将来的に離婚するつもりはない」と回答。
有職の妻は約5割と明確に離婚を否定する人が無職の妻より少ない。

将来的に離婚するつもりはありますか？

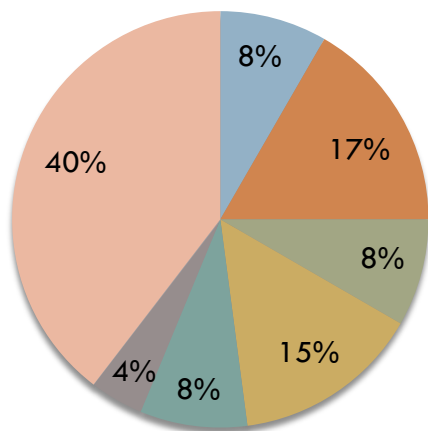
N=夫1030, 妻1030



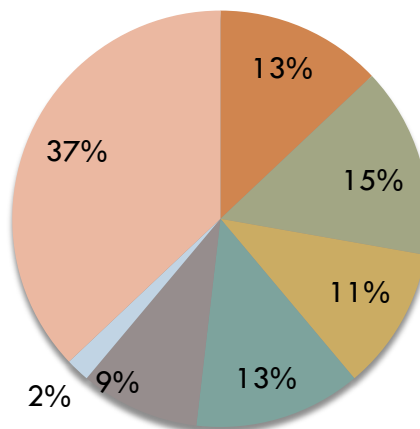
■ 「将来的に離婚するつもりがある」と答えた方にお聞きます。具体的にいつごろお考えですか？

将来的に離婚を考えている夫と妻の約4割が「いつかは分からない」と回答。夫の25%、妻の13%は「5年以内」に離婚を検討中。夫の8%は「1年以内に離婚」を考えている。

夫回答者



妻回答者



N=夫48, 妻54

- 1年以内
- 2～5年以内
- 6～10年以内
- 11～15年以内
- 16～20年以内
- 21～25年以内
- 26～30年以内
- いつかは分からない

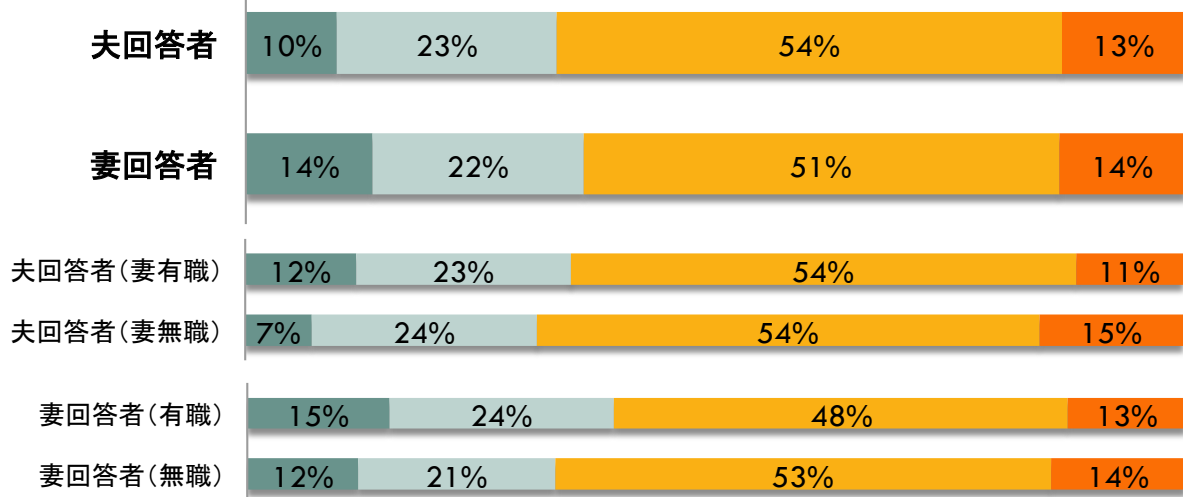
■ あなたは、夫婦関係に満足していますか？

夫と妻の65%前後が夫婦関係に満足しているが、就労している妻の満足度は若干低い。

夫婦関係満足度

N=夫1030, 妻1030

■ 全然満足していない ■ あまり満足していない ■ まあまあ満足している ■ とても満足している



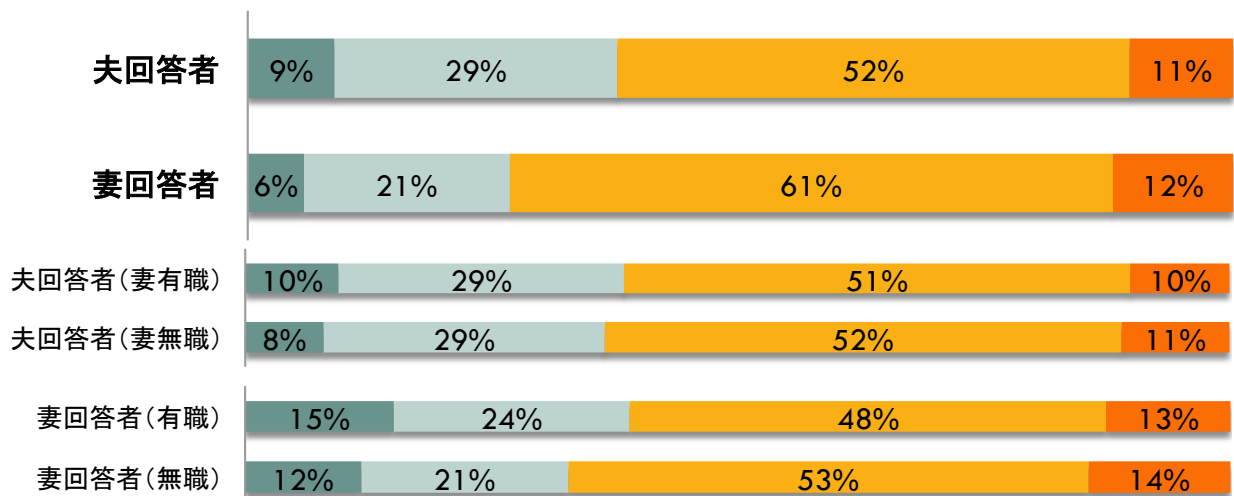
■ あなたの配偶者は、夫婦関係に満足していると思いますか？

「妻は夫婦関係に満足している」と感じている夫は約6割。「夫は夫婦関係に満足している」と感じている無職の妻回答者は7割だったが、有職の妻回答者は6割にとどまった。

配偶者の夫婦関係満足度

N=夫1030, 妻1030

■ 全然満足していないと思う ■ あまり満足していないと思う
■ まあまあ満足していると思う ■ とても満足していると思う



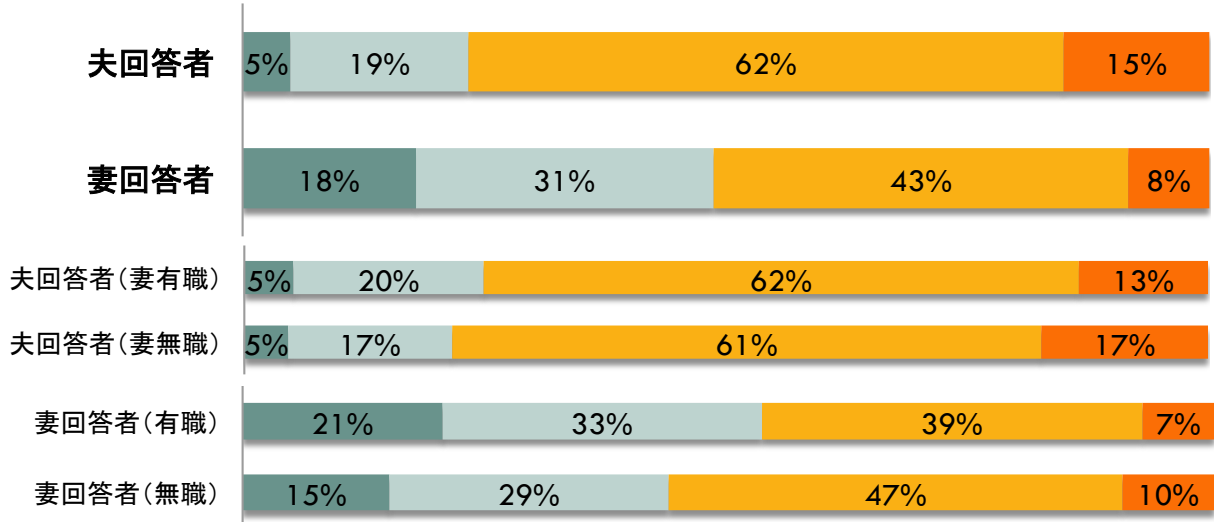
■ あなたは、配偶者との現在の家事・育児分担割合に満足していますか？

妻の就労状況に関わらず、7割以上の夫が満足している一方、満足している妻は5割前後。働いている妻は半数以上が不満を感じている。

家事育児分担割合満足度

N=夫1030, 妻1030

■ 全然満足していない ■ あまり満足していない ■ まあまあ満足している ■ とても満足している



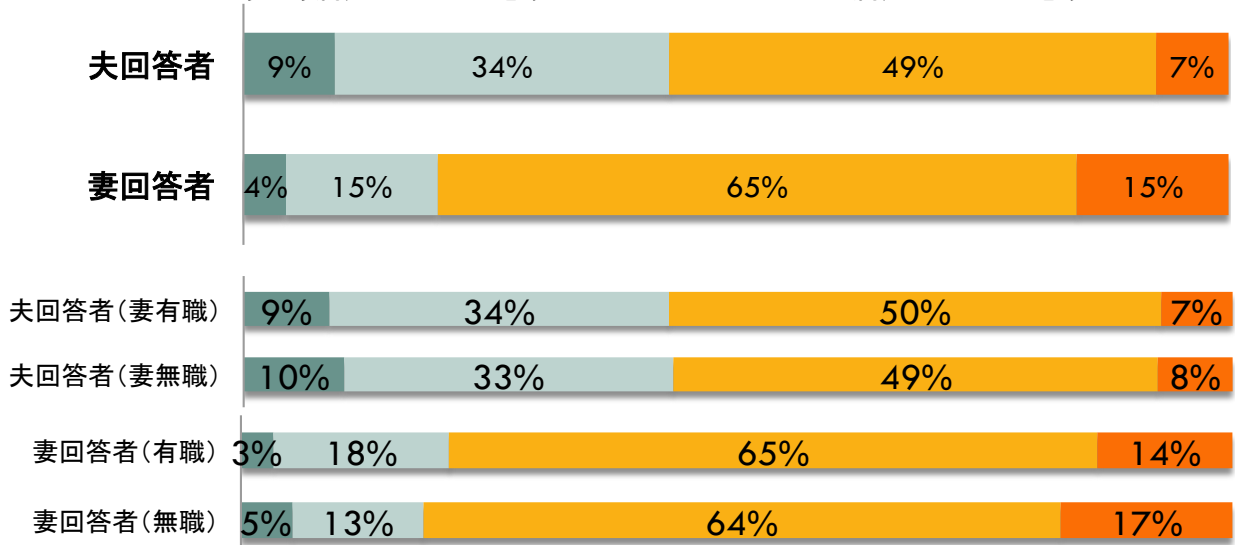
■ あなたの配偶者は現在の家事・育児分担割合に満足していると思いますか？

約4割以上の夫が妻は分担割合に不満を感じていることを認識。一方、妻は、8割が夫は分担割合に満足していると感じている。妻の就労状況による違いは見られない。

配偶者の分担割合満足度

N=夫1030, 妻1030

■ 全然満足していないと思う ■ あまり満足していないと思う
■ まあまあ満足していると思う ■ とても満足していると思う



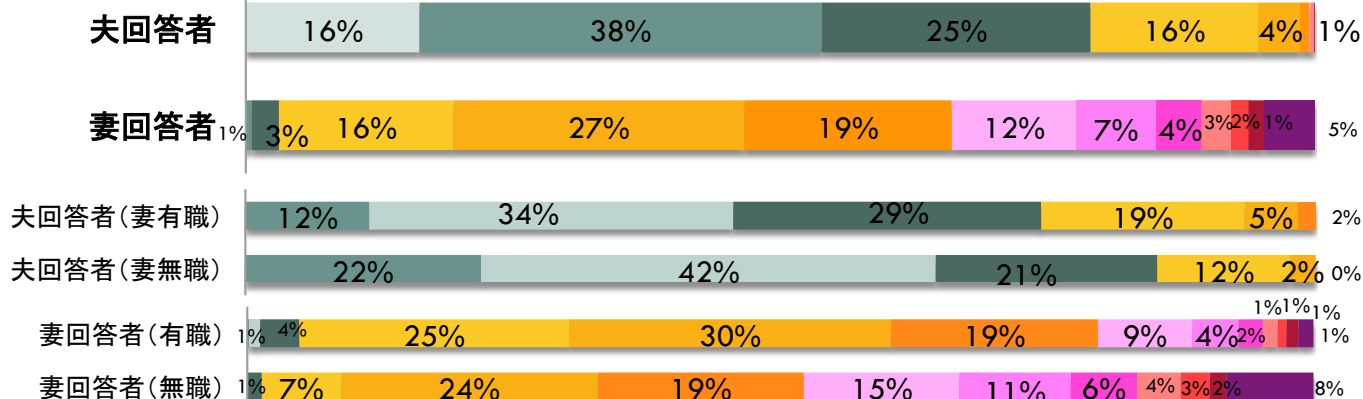
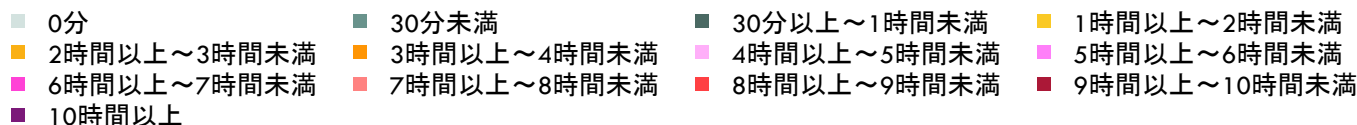
■ あなたは、どのくらい平日どのくらい家事育児をしますか？

5割以上の夫は平日の家事時間が30分未満。妻が有職の場合でも1割以上が平日全く家事をしていない。一方、有職の妻の4割、無職の妻の7割弱が平均3時間以上の家事を行っている。平日の育児についても4割の夫が30分未満、1.5割の夫が全く従事していない。一方、平日3時間以上の育児を行っている妻は有職で6割弱、無職で8割にのぼり、家事も育児も圧倒的に妻が担っていることがわかる。

平日	夫回答者 (妻有職)	夫回答者 (妻無職)	妻回答者 (有職)	妻回答者 (無職)
家事平均時間	54分	1時間3分	2時間36分	3時間42分
育児平均時間	1時間11分	1時間21分	3時間22分	6時間1分

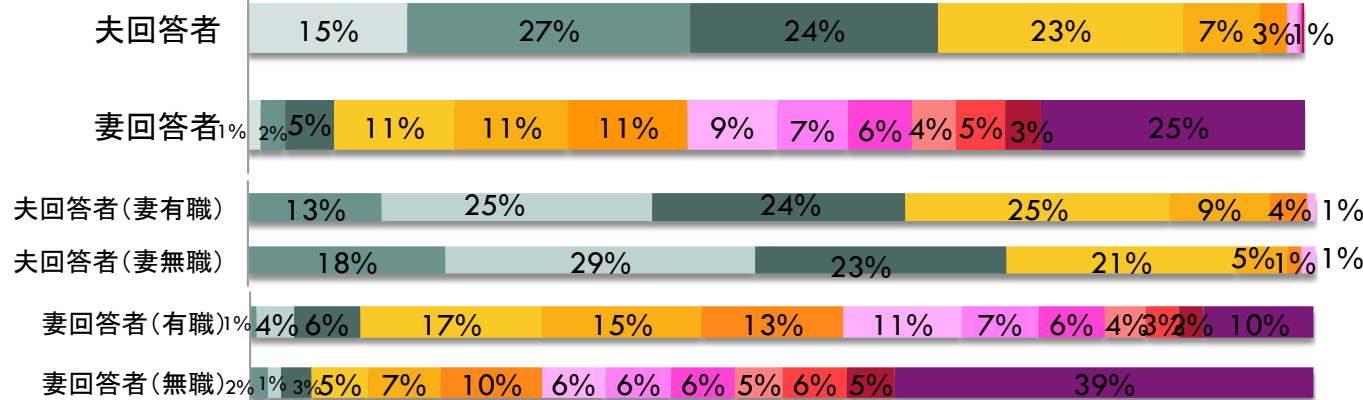
平日家事時間

N=夫1030, 妻=1030



平日育児時間

N=夫1030, 妻=1030



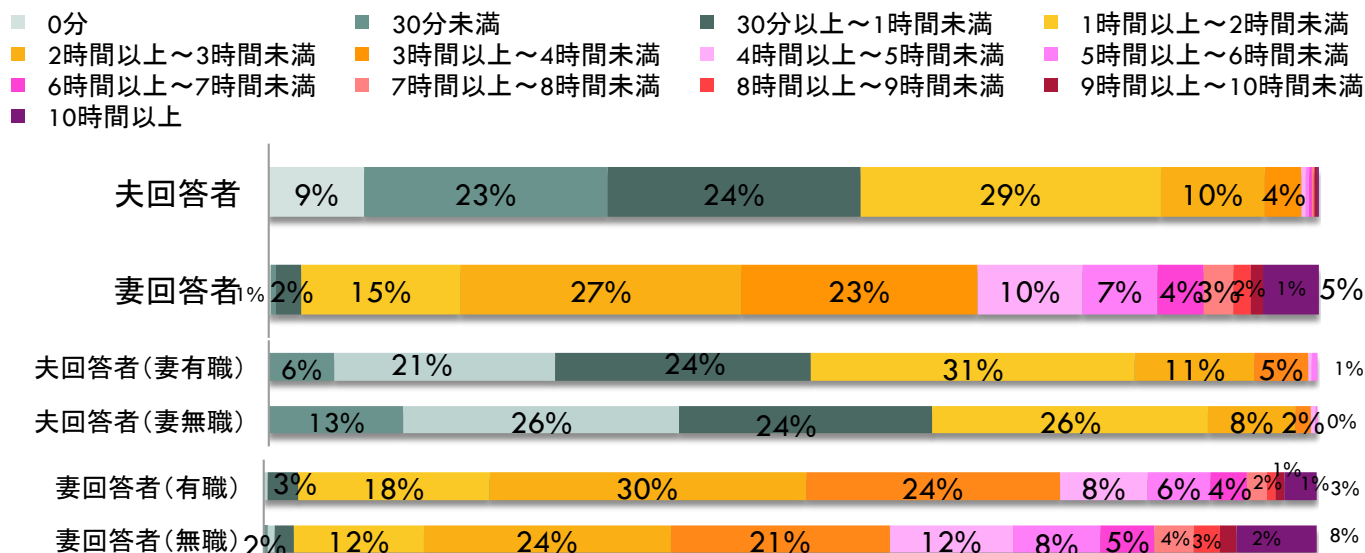
■ あなたは、どのくらい休日どのくらい家事育児をしますか？

夫の休日の家事時間は平日と違いが見られない。また、夫の約3割が30分以下、約1割が0分と休日も家事を担えていない。一方、有職の妻の5割、無職の妻の6割が3時間以上家事を行っている。育児については、夫の平均時間は妻が有職の場合で平日の2倍、無職の場合は平日の3倍行っており、休日は家事より育児をする傾向が見られる。妻は有職で4時間、無職の妻は6時間の育児を担っている。

休日	夫回答者 (妻有職)	夫回答者 (妻無職)	妻回答者 (有職)	妻回答者 (無職)
家事平均時間	1時間16分	1時間17分	2時間54分	3時間27分
育児平均時間	2時間17分	2時間16分	4時間28分	6時間2分

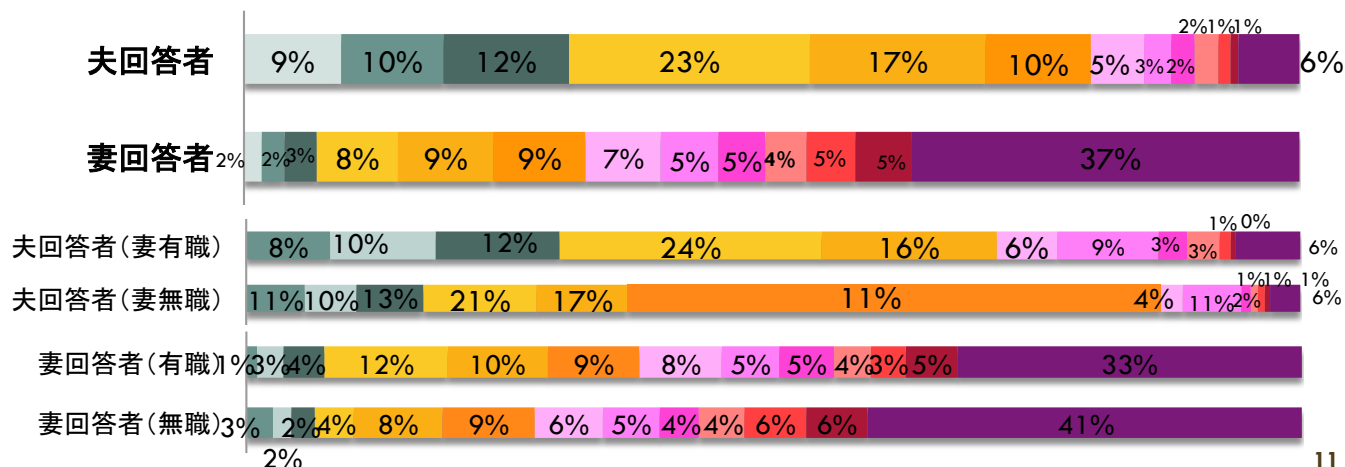
休日家事時間

N=夫1030, 妻1030



休日育児時間

N=夫1030, 妻1030



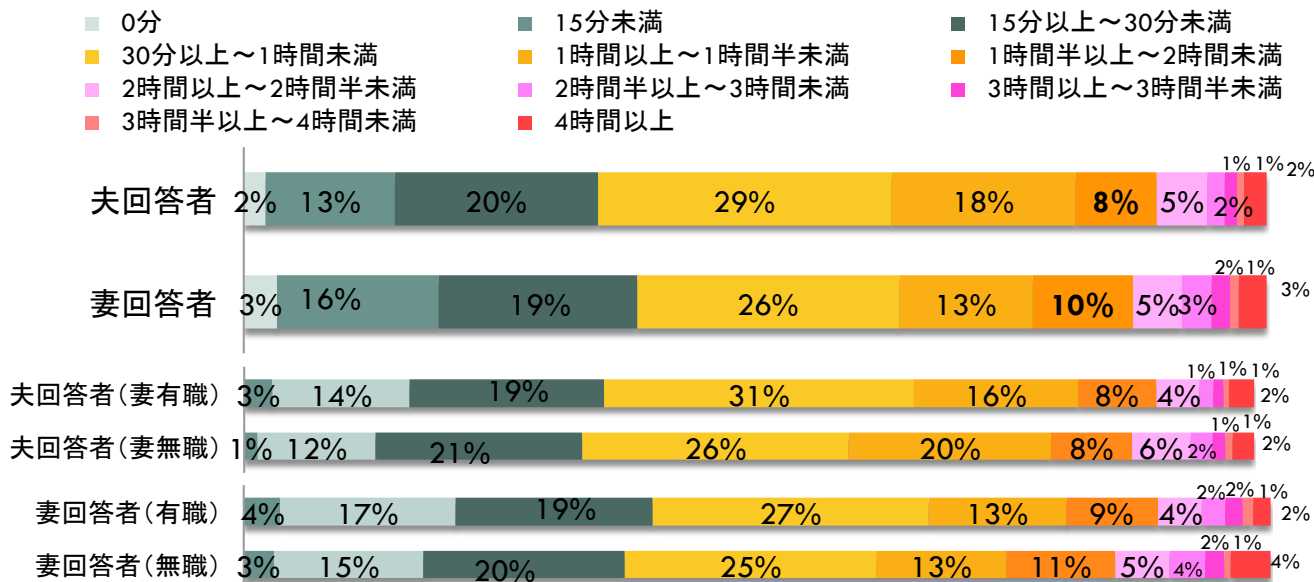
夫婦でどのくらい会話をしますか？

平日の平均会話時間は40分前後、休日の平均会話時間は、1時間を超えるが、妻が有職の場合と妻が無職の場合で20分程度の違いが見られる。また、休日はばらつきがみられ、会話の多い夫婦とほとんどない夫婦がいることがわかる。

	夫回答者 (妻有職)	夫回答者 (妻無職)	妻回答者 (有職)	妻回答者 (無職)
平日会話平均時間	36分	42分	35分	44分
休日会話平均時間	1時間11分	1時間30分	1時間36分	1時間52分

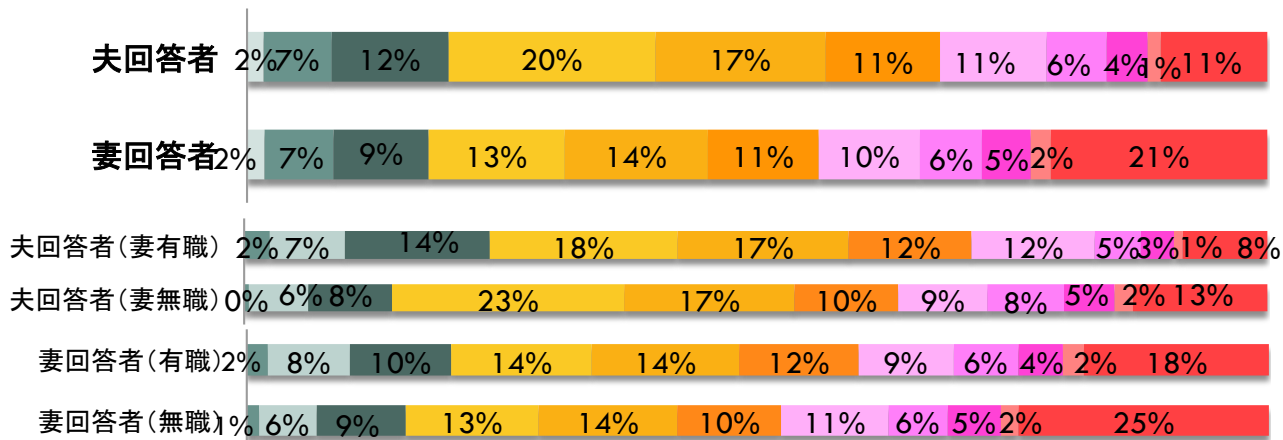
平日会話時間

N=夫1030, 妻1030



休日会話時間

N=夫1030, 妻1030



夫婦関係満足度と家事育児分担満足度

NPO法人Fathering Japan
結婚生活と離婚に関する意識調査
結果概要(2016.9)

夫婦関係満足度については無職の妻回答者以外は「自身の家事育児分担満足度」「配偶者の家事育児分担満足度」「会話時間」との間に正の相関関係が認められた。無職の妻は「夫の平日育児時間」と「妻自身の分担満足度」「会話時間」と正の相関があった。

分担満足度については、「自身の夫婦関係満足度」「配偶者の分担満足度」「会話時間」と正の相関関係が認められた。また、夫、妻ともに自分の家事育児負担時間が減ると、また、配偶者の負担時間が増えると分担満足度が高くなる傾向が見られた。特に、妻にその傾向が強く、「夫の家事育児時間」が妻の分担満足度と正の相関が認められた。

		相関関係が認められたもの ($p < .001$)
夫回答者 (妻有職)	夫婦関係満足度	夫自身の家事育児分担満足度 ($\rho = .407$) 妻の家事育児分担満足度 ($\rho = .350$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .376$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .367$)
	夫の家事育児分担満足度	夫自身の夫婦関係満足度 ($\rho = .407$) 妻の家事育児分担満足度 ($\rho = .423$)
夫回答者 (妻無職)	夫婦関係満足度	夫自身の家事育児分担満足度 ($\rho = .358$) 妻の家事育児分担満足度 ($\rho = .274$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .383$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .355$)
	夫の家事育児分担満足度	夫自身の夫婦関係満足度 ($\rho = .358$) 妻の家事育児分担満足度 ($\rho = .416$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .376$)
妻回答者 (有職)	夫婦関係満足度	夫の家事育児分担満足度 ($\rho = .211$) 妻の家事育児分担満足度 ($\rho = .423$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .408$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .427$)
	妻の家事育児分担満足度	妻自身の夫婦関係満足度 ($\rho = .423$) 夫の平日家事時間 ($\rho = .360$) 夫の平日育児時間 ($\rho = .321$) 夫の休日家事時間 ($\rho = .372$) 夫の休日育児時間 ($\rho = .283$) 夫の家事育児分担満足度 ($\rho = .228$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .318$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .302$)
妻回答者 (無職)	夫婦関係満足度	夫の平日育児時間 ($\rho = .208$) 妻自身の家事育児分担満足度 ($\rho = .434$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .316$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .386$)
	妻の家事育児分担満足度	妻自身の夫婦関係満足度 ($\rho = .434$) 夫の平日家事時間 ($\rho = .233$) 夫の平日育児時間 ($\rho = .250$) 夫の休日家事時間 ($\rho = .256$) 夫の休日育児時間 ($\rho = .225$) 夫の家事育児分担満足度 ($\rho = .224$) 夫婦の平日会話時間 ($\rho = .257$) 夫婦の休日会話時間 ($\rho = .264$)

「円満夫婦」と「不満夫婦」

- 「円満夫婦」は「不満夫婦」より夫婦両方の家事育児分担満足度が高い。

二つのグループを比較すると、「円満夫婦」は「不満夫婦」にくらべて夫と妻両方の「家事分担満足度」が高い。なお、「円満夫婦」の夫の平日・休日家事時間は「不満夫婦」より平均で10-15分程度長く、また、育児時間は20-30分長い。

「円満夫婦」

「不満夫婦」

夫の家事育児分担満足度



夫の家事育児分担満足度

妻の家事育児分担満足度



妻の家事育児分担満足度

夫の平日・休日家事時間
平日:32分、休日:58分



夫の平日・休日家事時間
平日:24分、休日:39分

夫の平日・休日育児時間
平日:56分
休日:2時間29分



夫の平日・休日育児時間
平日:40分
休日:1時間56分

N=円満夫婦972, 危機的夫婦494

- 「円満夫婦」は「円満夫婦」は「不満夫婦」より夫婦の会話時間が3倍長い。

「夫婦の会話時間」に大きな違いがあった。「円満夫婦」の夫婦の会話時間は「不満夫婦」の3倍長い。また、「不満夫婦」は平日ほとんど会話をしていない。

「円満夫婦」

「不満夫婦」

夫婦平日会話時間
58分



夫婦平日会話時間
18分

夫婦休日会話時間
2時間



夫婦休日会話時間
42分

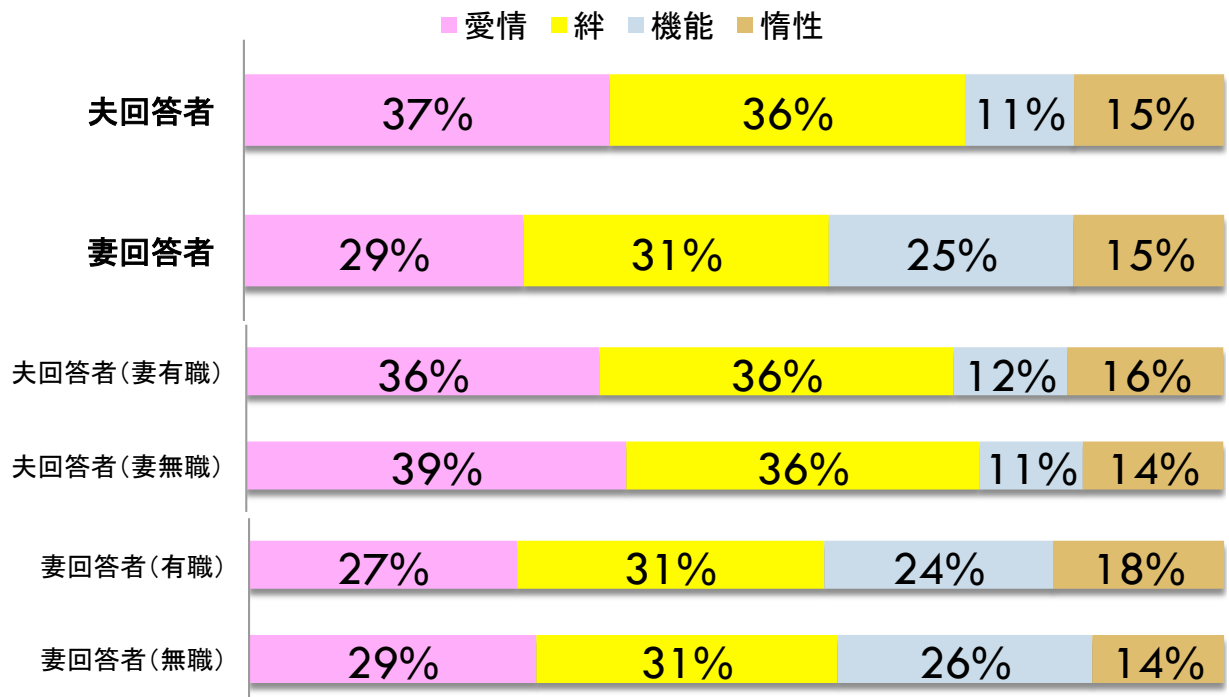
N=円満夫婦972, 危機的夫婦494

「円満夫婦」:「あなたは夫婦関係に満足していますか?」という質問に対し、「まあまあ満足している」または「とても満足している」と回答し、且つ、「離婚したいと思ったことがありますか?」という質問に対して「ない」と回答した者。

「不満夫婦」:「あなたは夫婦関係に満足していますか?」という質問に対し、「あまり満足していない」または「全然満足していない」と回答し、且つ、「離婚したいと思ったことがありますか?」という質問に対して「ある」と回答した者。

夫は「愛情」「絆」に関する理由が合わせて約7割。一方、妻は有職、無職にかかわらず「愛情」「絆」に関する理由が占める割合が約3割と、夫よりかなり低い。その一方で、「機能」に関する理由が占める割合が2割を超え、夫の倍以上である。このように、妻は「愛情」や「絆」等の情緒的側面だけではなく、機能的側面を結婚生活に求める傾向があることがわかった。なお、「惰性」に関する理由は夫と妻の間では差はなく、有職の妻、無職の妻の間で若干の差が見られた。

結婚生活を続けている理由



それぞれのグループにおいて選択された項目全体の数を100%とした際の割合。

- あなたが結婚生活を続けている理由は何ですか？あてはまるものをすべて選んでください。

愛情	配偶者を信頼しているから 配偶者を愛しているから 配偶者は私のことを理解してくれているから
絆	離婚することで、子どもに辛い思いをさせたくないから これまで積み上げてきたものを失いたくないから 家族が分裂することは、よいことではないから
機能	配偶者がいないと経済的に成り立たないから 一人で家事育児をするのは大変だから 配偶者がいないと老後が心配だから
惰性	不満はあるが、我慢すればよいから 離婚に至る過程とその手続きが面倒だから 離婚すると世間体がよくないから

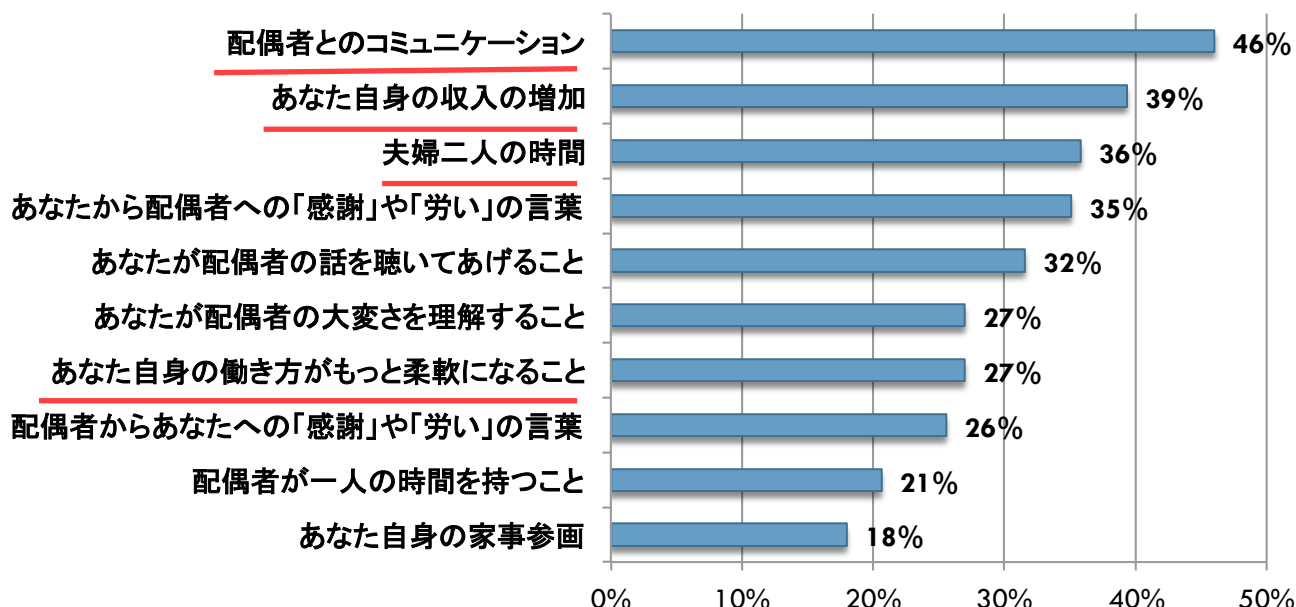
よりよい夫婦関係のために必要なこと(夫)

NPO法人Fathering Japan
結婚生活と離婚に関する意識調査
結果概要(2016.9)

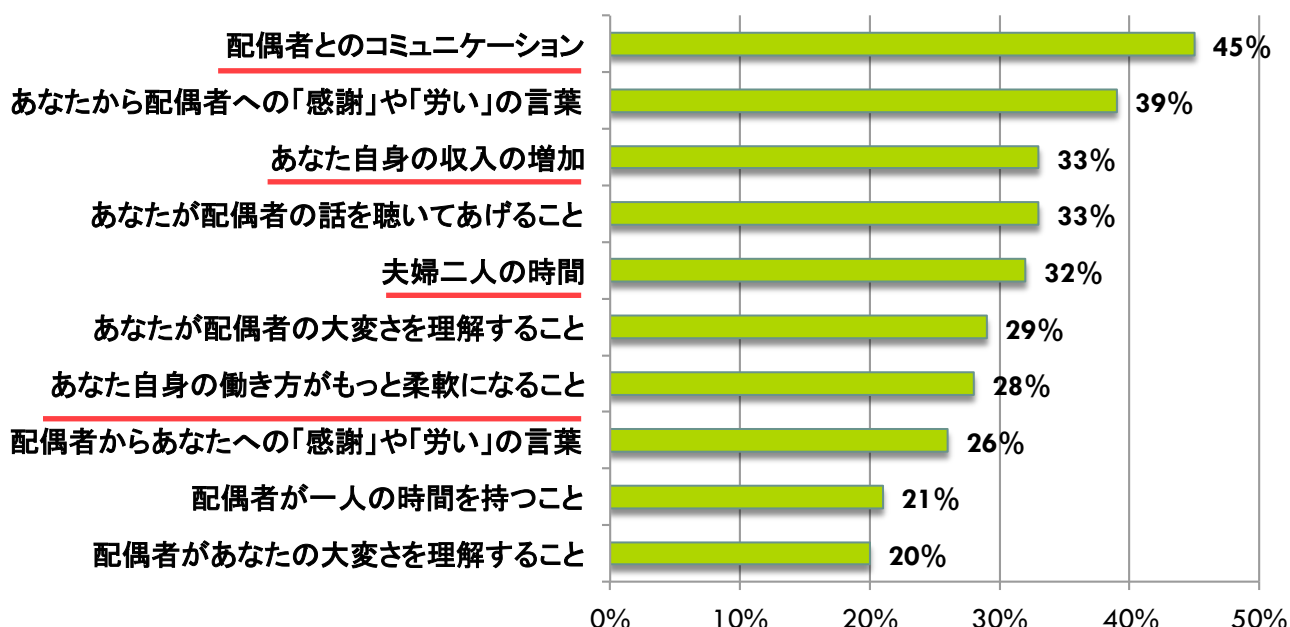
■ あなたと配偶者の夫婦関係を今より良くするために何が必要ですか？

全20の選択肢から上位10の選択肢を抜粋。「配偶者とのコミュニケーション」「二人の時間」「配偶者への理解や労い」の他、妻の有職の夫で約4割、妻が無職の夫で約3割「夫自身の収入の増加」が必要と考えており、夫が稼働役割を感じていることがわかる。同時に、約3割が「働き方が柔軟になること」が必要と考えている。

妻との夫婦関係を今より良くするために必要なこと: 夫回答者(妻有職)



妻との夫婦関係を今より良くするために必要なこと: 夫回答者(妻無職)



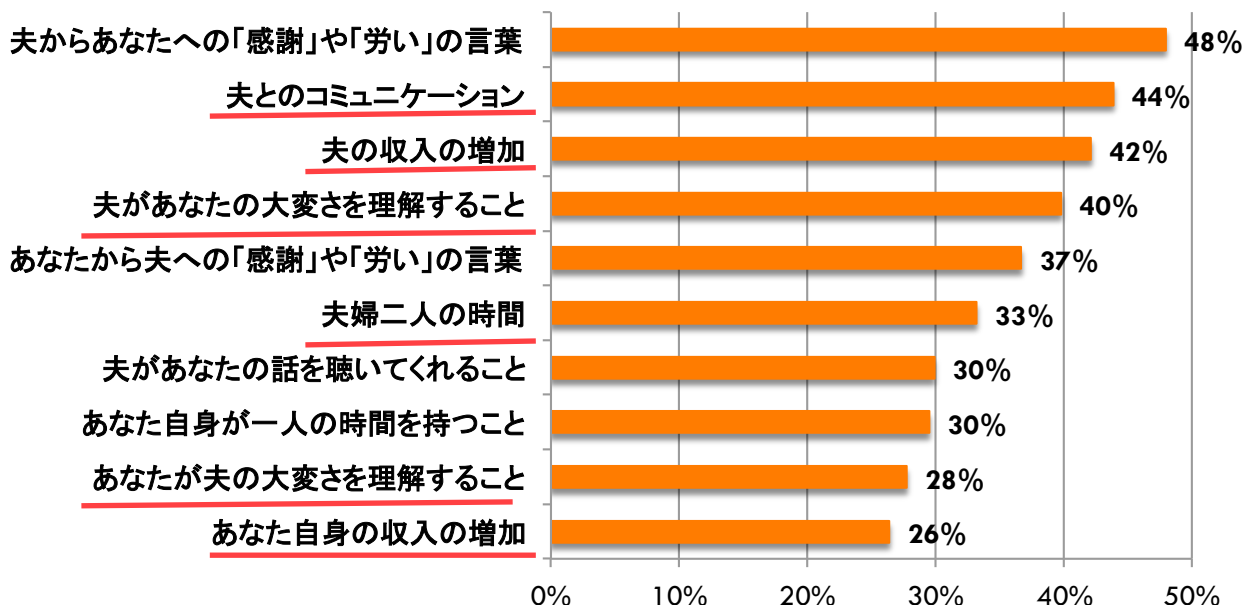
よりよい夫婦関係のために必要なこと(妻)

NPO法人Fathering Japan
結婚生活と離婚に関する意識調査
結果概要(2016.9)

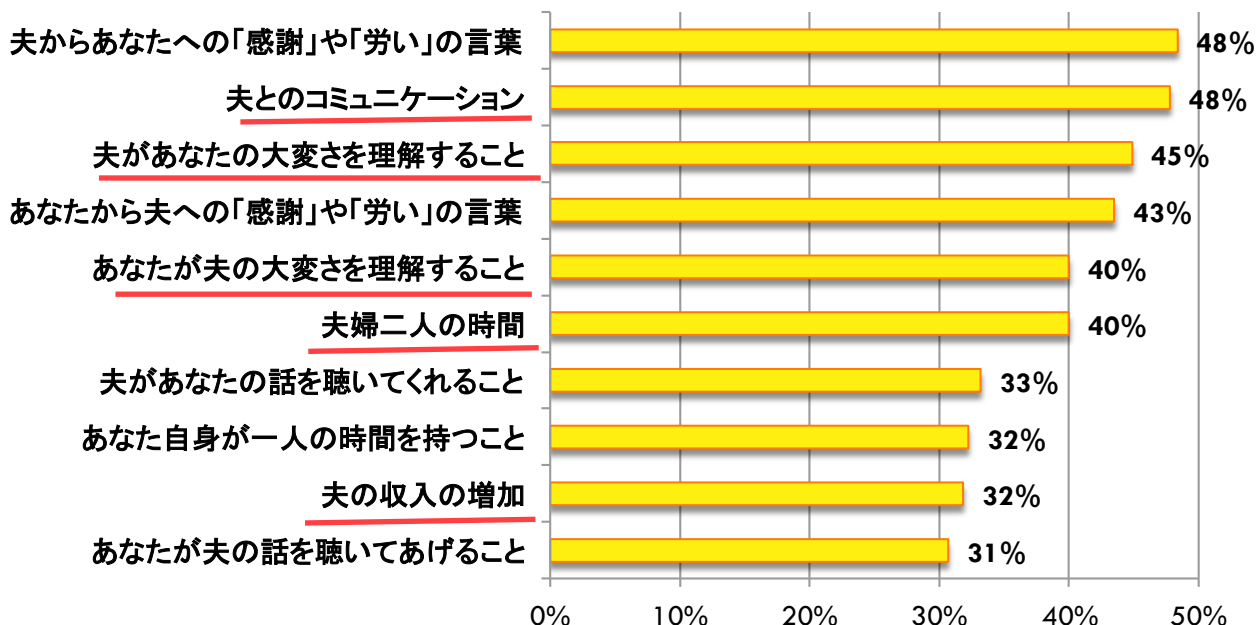
■ あなたと配偶者の夫婦関係を今より良くするために何が必要ですか？

全20の選択肢から上位10の選択肢を抜粋。約4割の妻が「夫からの理解や労い」と同時に「夫への理解」が必要と考えている。また、「コミュニケーション」や「夫婦の二人時間」が必要と考えていた。約3-4割が「夫の収入の増加」を求める一方で、有職の妻の3割弱は「自身の収入の増加」も必要と感じていた。

夫との夫婦関係を今より良くするために必要なこと:妻回答者(有職)



夫との夫婦関係を今より良くするために必要なこと:妻回答者(無職)



調査結果

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
実施機関	株式会社マクロミル
実施期間	2016年06月17日(金)～2016年06月18日(土)
調査対象者	小学生以下の子どもを持つ既婚者(長子が中学生未満)
調査エリア	全国
有効サンプル数	2060(男性1030、女性1030)

[TABLE001]

SEX	性別 単一回答	N	%
1	男性	1030	50.0
2	女性	1030	50.0
	全体	2060	100.0

[TABLE002]

AGEID	年齢 単一回答	N	%
1	12才未満	0	0.0
2	12才～19才	0	0.0
3	20才～24才	0	0.0
4	25才～29才	0	0.0
5	30才～34才	481	23.3
6	35才～39才	616	29.9
7	40才～44才	653	31.7
8	45才～49才	310	15.0
9	50才～54才	0	0.0
10	55才～59才	0	0.0
11	60才以上	0	0.0
	全体	2060	100.0

[TABLE003]

PREFECTURE	都道府県 単一回答	N	%
1	北海道	101	4.9
2	青森県	14	0.7
3	岩手県	18	0.9
4	宮城県	31	1.5
5	秋田県	16	0.8
6	山形県	10	0.5
7	福島県	23	1.1
8	茨城県	38	1.8
9	栃木県	19	0.9
10	群馬県	27	1.3
11	埼玉県	124	6.0
12	千葉県	99	4.8
13	東京都	210	10.2
14	神奈川県	163	7.9
15	新潟県	41	2.0
16	富山県	12	0.6
17	石川県	21	1.0
18	福井県	16	0.8
19	山梨県	4	0.2
20	長野県	23	1.1
21	岐阜県	38	1.8
22	静岡県	60	2.9
23	愛知県	152	7.4
24	三重県	23	1.1
25	滋賀県	37	1.8
26	京都府	46	2.2
27	大阪府	180	8.7
28	兵庫県	105	5.1
29	奈良県	20	1.0
30	和歌山県	14	0.7
31	鳥取県	12	0.6
32	島根県	9	0.4
33	岡山県	25	1.2
34	広島県	60	2.9
35	山口県	18	0.9
36	徳島県	6	0.3
37	香川県	18	0.9
38	愛媛県	16	0.8
39	高知県	9	0.4
40	福岡県	99	4.8
41	佐賀県	11	0.5
42	長崎県	16	0.8
43	熊本県	17	0.8
44	大分県	16	0.8
45	宮崎県	12	0.6
46	鹿児島県	15	0.7
47	沖縄県	16	0.8
	全体	2060	100.0

[TABLE004]

AREA	地域 単一回答	N	%
1	北海道	101	4.9
2	東北地方	112	5.4
3	関東地方	680	33.0
4	中部地方	390	18.9
5	近畿地方	402	19.5
6	中国地方	124	6.0
7	四国地方	49	2.4
8	九州地方	202	9.8
	全体	2060	100.0

[TABLE005]

MARRIED	未婚 単一回答	N	%
1	未婚	0	0.0
2	既婚	2060	100.0
	全体	2060	100.0

[TABLE006]

CHILD	子供の有無 単一回答	N	%
1	子供なし	0	0.0
2	子供あり	2060	100.0
	全体	2060	100.0

[TABLE007]

HINCOME	世帯年収 単一回答	N	%
1	200万未満	28	1.4
2	200～400万未満	301	14.6
3	400～600万未満	645	31.3
4	600～800万未満	394	19.1
5	800～1000万未満	203	9.9
6	1000～1200万未満	76	3.7
7	1200～1500万未満	43	2.1
8	1500～2000万未満	19	0.9
9	2000万円以上	7	0.3
10	わからない	95	4.6
	無回答	249	12.1
	全体	2060	100.0

[TABLE008]

PINCOME	個人年収 単一回答	N	%
1	200万未満	686	33.3
2	200～400万未満	283	13.7
3	400～600万未満	426	20.7
4	600～800万未満	210	10.2
5	800～1000万未満	80	3.9
6	1000～1200万未満	33	1.6
7	1200～1500万未満	7	0.3
8	1500～2000万未満	3	0.1
9	2000万円以上	4	0.2
10	わからない	65	3.2
	無回答	263	12.8
	全体	2060	100.0

[TABLE009]

JOB	職業 単一回答	N	%
1	公務員	99	4.8
2	経営者・役員	26	1.3
3	会社員(事務系)	308	15.0
4	会社員(技術系)	377	18.3
5	会社員(その他)	320	15.5
6	自営業	70	3.4
7	自由業	13	0.6
8	専業主婦(主夫)	517	25.1
9	パート・アルバイト	303	14.7
10	学生	2	0.1
11	その他	18	0.9
12	無職	7	0.3
	全体	2060	100.0

調査結果

[TABLE010]

STUDENT	学生種別	N	%
1	小学生	0	0.0
2	中学生	0	0.0
3	高校生・高専生	0	0.0
4	専門学校生	2	100.0
5	短大生	0	0.0
6	大学生	0	0.0
7	大学院生	0	0.0
8	その他学生	0	0.0
	全体	2	100.0

[TABLE011]

CELL	制付セル	N	%
1	男性×小学生以下の子供	1030	50.0
2	女性×有職×小学生以下の子供	515	25.0
3	女性×無職×小学生以下の子供	515	25.0
	全体	2060	100.0

[TABLE012]

Q1	「あなた」と「あなたの配偶者」は、どのくらい「家事」と「育児」をしますか？「平日（月～金）」と「休日（土日祝日）」の1日あたりの平均的な時間をそれぞれお答えください。	全体	1 0分	2 30分未満	3 30分以上～1時間未満	4 1時間以上～1時間半未満	5 1時間半以上～2時間未満	6 2時間以上～2時間半未満	7 2時間半以上～3時間未満	8 3時間以上～3時間半未満	9 3時間半以上～4時間未満	10 4時間以上～5時間未満	11 5時間以上～6時間未満	12 6時間以上～7時間未満	13 7時間以上～8時間未満	14 8時間以上～9時間未満	15 9時間以上～10時間未満	16 10時間以上
1	あなた自身の平日家事時間	2060 100.0	168 8.2	393 19.1	285 13.8	175 8.5	155 7.5	177 8.6	143 6.9	111 5.4	98 4.8	122 5.9	76 3.7	44 2.1	31 1.5	18 0.9	15 0.7	49 2.4
2	あなた自身の平日育児時間	2060 100.0	168 8.2	300 14.6	289 14.0	194 9.4	162 7.9	101 4.9	86 4.2	70 3.4	73 3.5	98 4.8	71 3.4	65 3.2	43 2.1	47 2.3	37 1.8	256 12.4
3	あなた自身の休日家事時間	2060 100.0	96 4.7	244 11.8	273 13.3	252 12.2	198 9.6	212 10.3	166 8.1	140 6.8	127 6.2	107 5.2	78 3.8	47 2.3	31 1.5	18 0.9	14 0.7	57 2.8
4	あなた自身の休日育児時間	2060 100.0	113 5.5	122 5.9	155 7.5	166 8.1	148 7.2	142 6.9	121 5.9	96 4.7	98 4.8	124 6.0	83 4.0	69 3.3	63 3.1	59 2.9	62 3.0	439 21.3
5	配偶者の平日家事時間	2060 100.0	448 21.7	384 18.6	364 17.7	181 8.8	162 7.9	133 6.5	165 8.0	106 5.1	111 5.4	75 3.6	97 4.7	54 2.6	41 2.0	9 0.4	26 1.3	11 0.5
6	配偶者の平日育児時間	2060 100.0	292 14.2	335 16.3	242 11.7	202 9.8	157 7.6	149 7.2	123 6.0	106 5.1	72 3.5	82 4.0	62 3.0	33 1.6	33 1.7	35 1.7	32 1.6	117 5.7
7	配偶者の休日家事時間	2060 100.0	280 13.6	342 16.6	240 11.7	203 9.9	182 8.8	176 8.5	144 7.0	122 5.9	87 4.2	80 3.9	65 3.2	29 1.4	20 1.0	28 1.4	14 0.7	48 2.3
8	配偶者の休日育児時間	2060 100.0	143 6.9	149 7.2	166 8.1	177 8.6	179 8.7	168 8.2	170 8.3	147 7.1	118 5.7	123 6.0	112 5.4	71 3.4	58 2.8	46 2.2	29 1.4	204 9.9

[TABLE013]

Q2	あなたは、配偶者との現在の家事・育児分担割合に満足していますか？また、配偶者は満足していると思いますか？それぞれお答えください。	全体	1 全く満足していない	2 あまり満足していない	3 まあまあ満足している	4 とても満足している
1	あなた自身	2060 100.0	234 11.4	508 24.7	1075 52.2	243 11.8
2	配偶者	2060 100.0	140 6.8	508 24.7	1177 57.1	235 11.4

[TABLE014]

Q3	あなたと配偶者は夫婦でどのくらい会話をしますか？「平日（月～金）」と「休日（土日祝日）」の1日あたりの平均的な時間をそれぞれお答えください。	全体	1 0分	2 15分未満	3 15分以上～30分未満	4 30分以上～1時間未満	5 1時間以上～1時間半未満	6 1時間半以上～2時間未満	7 2時間以上～2時間半未満	8 2時間半以上～3時間未満	9 3時間以上～3時間半未満	10 3時間半以上～4時間未満	11 4時間以上
1	平日（月～金）	2060 100.0	55 2.7	294 14.3	404 19.6	560 27.2	319 15.5	182 8.8	100 4.9	48 2.3	31 1.5	14 0.7	53 2.6
2	休日（土日祝日）	2060 100.0	33 1.6	139 6.7	214 10.4	347 16.8	316 15.3	227 11.0	210 10.2	124 6.0	90 4.4	33 1.6	327 15.9

[TABLE015]

Q4	あなたは現在の夫婦関係に満足していますか？また、配偶者は満足していると思いますか？それぞれお答えください。	全体	1 全く満足していない	2 あまり満足していない	3 まあまあ満足している	4 とても満足している
1	あなた自身	2060 100.0	239 11.6	472 22.9	1074 52.1	275 13.3
2	配偶者	2060 100.0	150 7.3	511 24.8	1165 56.6	234 11.4

[TABLE016]

Q5	配偶者と「別居したい」または、「離婚したい」と思ったことはありますか？ 単一回答	全体	1	2
			ある	ない
1	「別居したい」と思ったこと	2060 100.0	831 40.3	1229 59.7
2	「離婚したい」と思ったこと	2060 100.0	871 42.3	1189 57.7

[TABLE017]

Q6	前問で「ある」と答えた方にお聞きします。どのくらいの頻度でそう思いますか？ 単一回答	全体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
			毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	2～3ヶ月に1回	半年に1回	1年に1回	2～3年に1回	5～10年に1回	それ以下の頻度
1	「別居したい」	831 100.0	90 10.8	18 2.2	41 4.9	71 8.5	134 16.1	103 12.4	117 14.1	91 11.0	65 7.8	53 6.4	48 5.8
2	「離婚したい」	871 100.0	84 9.6	15 1.7	27 3.1	56 6.4	117 13.4	103 11.8	124 14.2	122 14.0	101 11.6	73 8.4	49 5.6

[TABLE018]

Q7	現在、配偶者と別居中、または、家庭内別居中ですか？ 単一回答	N	%
1	家庭内別居中	72	3.5
2	別居中	20	1.0
3	現在は別居中でも家庭内別居中でもないが、以前家庭内別居したことがある	28	1.4
4	現在は別居中でも家庭内別居中でもないが、以前別居したことがある	54	2.6
5	別居中でも家庭内別居中でもないし、以前もしたことはない	1871	90.8
6	その他【 】	15	0.7
	全体	2060	100.0

[TABLE019]

Q8	あなたは、将来的に離婚するつもりがありますか？ 単一回答	N	%
1	はい	102	5.0
2	いいえ	1349	65.5
3	分からない	609	29.6
	全体	2060	100.0

[TABLE020]

Q9	前問で「将来的に離婚するつもりがある」と答えた方にお聞きします。具体的にいつ頃をお考えですか？ 単一回答	N	%
1	1年以内	4	3.9
2	2～5年以内	15	14.7
3	6～10年以内	12	11.8
4	11～15年以内	13	12.7
5	16～20年以内	11	10.8
6	21～25年以内	7	6.9
7	26～30年以内	1	1.0
8	31年後以降	0	0.0
9	いつかは分からない	39	38.2
	全体	102	100.0

[TABLE021]

Q10	あなたが結婚生活を続けている理由は何ですか？あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも) 複数回答	N	%
1	配偶者を信頼しているから	888	43.1
2	配偶者を愛しているから	792	38.4
3	配偶者は私のことを理解してくれているから	688	33.4
4	配偶者がいないと経済的に成り立たないから	560	27.2
5	一人で家事育児をするのは大変だから	435	21.1
6	配偶者がいないと老後が心配だから	394	19.1
7	離婚することで、子どもに辛い思いをさせたくないから	1173	56.9
8	これまで積み上げてきたものを失いたくないから	400	19.4
9	家族が分裂することは、よいことではないから	868	42.1
10	不満はあるが、我慢すればよいから	584	28.3
11	離婚に至る過程とその手続きが面倒だから	335	16.3
12	離婚すると世間体がよくないから	206	10.0
13	その他【 】	48	2.3
	全体	2060	100.0

[TABLE022]

Q11	あなたと配偶者の夫婦関係を今より良くするために何が必要ですか？あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも) 複数回答	N	%
1	あなた自身の働き方がもっと柔軟になること	451	21.9
2	配偶者の働き方がもっと柔軟になること	254	12.3
3	あなた自身が仕事から早く帰宅すること	223	10.8
4	配偶者が仕事から早く帰宅すること	209	10.1
5	あなた自身の収入の増加	670	32.5
6	配偶者の収入の増加	496	24.1
7	あなた自身が一人の時間を持つこと	433	21.0
8	配偶者が一人の時間を持つこと	359	17.4
9	夫婦二人の時間	727	35.3
10	あなた自身の家事参画	203	9.9
11	配偶者の家事参画	231	11.2
12	あなた自身の育児参画	204	9.9
13	配偶者の育児参画	229	11.1
14	配偶者とのコミュニケーション	940	45.6
15	あなたが配偶者の大変さを理解すること	635	30.8
16	配偶者があなたの大変さを理解すること	609	29.6
17	あなたから配偶者への「感謝」や「労い」の言葉	792	38.4
18	配偶者からあなたへの「感謝」や「労い」の言葉	763	37.0
19	あなたが配偶者の話を聴いてあげること	608	29.5
20	配偶者があなたの話を聴いてくれること	498	24.2
21	その他【 】	83	4.0
	全体	2060	100.0

【本件に関するお問い合わせ先】

NPO法人ファザリング・ジャパン 担当理事 林田

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1320

メール:gyoumu@fathering.jp